

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日：2023年1月20日

事業所名：こども支援センタースマイル(児童発達支援)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	活動に応じて机や椅子等は随時片付けて、スペースを確保するようにしており、活動に必要なものについては収納しています。運動など体を動かす部屋と食事や作業を行う静の動きの部屋を分けています。	はい90% わからない10% 運動スペースもあり広々している。活動のスペースは広いと思います。走り回れるようなスペースが確保されている。	今度も継続して、活動や課題の状況に応じて環境を整えていきます。更に過ごしやすい空間作りを目指します。
	2 職員の適切な配置	指定基準に基づいて人員を配置しています。職員は、10名の定員に対して必ず5名～6名を配置するようにしています。また、言語聴覚士や作業療法士も確保しています。	はい93% わからない7% 適切だと思う。職員さんの人数も多く手厚く見て頂いていると思う。子どもの数に対して職員の数が多く支援してもらいやすい。	今後も継続して、活動内容に応じた人員配置を行っていきます。職員は、10名の定員に対して必ず5名～6名を配置するようにしています。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	事業所内はバリアフリー化の構造になっています。子どもたちが視覚的に気になる物は外してシンプルな環境作りを心がけています。また写真やイラストなどで視覚的に分かりやすくしています。	はい87% わからない13% 子どもが分かりやすいように工夫してくれている。絵カードやスケジュールで視覚的に分かりやすい。	今後も安全面を配慮し、子ども達の特性に合わせ、視覚を意識したわかりやすい伝え方を心がけていきます
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、活動に使うもの(椅子や机、玩具等)はアルコール消毒、また、24時間換気を実施しています。活動に最適な空間づくりを心がけています。床暖房も完備しており、冬場でも裸足で利用でき安全です。	はい93% わからない7% 送迎時や見学の時もいつも綺麗にされていると思った掃除が行き届いていて清潔だと思います。綺麗に掃除されていて消毒の対策もされている。	今後も引き続き、清掃や消毒をこまめに実施し、冷暖房利用時についても意識して換気を行います。コロナウイルス感染対策予防も引き続き実施していきます。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	開始前に申し送りし、終了後の振り返りを行い、業務における注意事項などの確認をして、業務改善に努めています。また、毎日出勤していない職員にも情報共有ができるよう業務日誌や職員用回覧を使い閲覧できるようにしています。		今後も職員間で更に連携を深め、業務改善を積極的にしていきます。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していません。		今後検討していきます。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	スマイルの3事業所内でスタッフが順に実務研修を行い、全体会議で研修内容の報告をして、資質向上に努めています。また、外部の研修についてもお知らせを随時職員に発信しています。		職員が様々な研修に参加できる体制を整え、職員のスキルアップに繋がると共に、研修で得た知識内容を職員間で共有したいと思います。
適切	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画を立てる際に保護者様と面談をし、現状と今後の課題についてアセスメントを行っています。その内容をもとに個別支援計画を作成しています。		今後も継続してアセスメントを行い、保護者の方と一緒に今後の課題や支援方針を検討していきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
な支援の提供	2	子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	支援計画作成後は、職員全体会議等で内容を共有し、支援計画に基づいて支援を行っています。	はい93% いいえ3% どちらともいえない3% 保護者の意見に応じて同じ思いで支援計画を作成してくれている。支援計画が達成できるように支援してくれている。子どもに必要な課題を設定してくれている。	個々の現状に合わせた個別活動と集団活動を組み合わせて、個別支援計画を作成します。
	3	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画は子どもや保護者のニーズに基づいて、できるだけ分かりやすい内容で目標を設定し、具体的な支援内容を記載するように心がけています。		今後も引き続き、具体的に分かりやすい支援内容を明記し、実際の支援に繋げていくようにします。
適切な支援の提供(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画に基づいて支援を行い、一人一人の特性や興味、取り組みの様子に合わせて支援方法を職員間で話し合って実施するようにしています。	はい83% どちらともいえない17% 色々な活動がありとてもいいと思う。	引き続き、支援計画の内容を職員間で共有し、支援計画に基づいた療育を実施していきたいと思います。また、コドモンの配信で活動時の様子を皆様に配信見せて頂けるように9月から実施しています。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	毎月活動や課題のテーマに沿ったプログラムを考え、担当を決めてチーム全体で活動内容の工夫に努めています。		引き続き、担当職員が中心となって、各活動の内容をチーム全体でより良いプログラムになるように検討していきます。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	長期休暇ではコロナウイルス感染拡大の影響で外出活動はできませんでしたが、それに代わる遊びやプログラムを考え、設定するようにしています。	はい 83% どちらともいえない3% わからない14% スマイル便りのカレンダーを見ているだけだといつも同じ内容なのかと思うので細かく内容が書かれていると分かりやすい。通い始めたばかりなのでわからない。	今後も、サービス提供時間を考慮しながら、子どもたちのペースに合わせて、様々な活動経験ができるように支援内容を充実させて行きたいと思います。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	月単位で、課題活動の内容を変えるなどして、また週単位ではリトミックやサーキット運動などプログラムに少しずつ変化をつけて、子どもたちが楽しみながら活動できるように工夫しています。		今後も、子どもたちが飽きずに楽しく活動に取り組めるようなプログラムを意識して企画していきます。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	毎日支援前には職員でミーティングを行い、その日の利用児童、プログラムの内容、役割分担、注意点等を確認しています。		今後も引き続きミーティングを行い、支援内容や役割分担を把握し適切な支援を行っていきます。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	支援終了後もミーティングを行い、利用児童一人一人について振り返りをして、職員間の情報共有をしています。また、毎月の職員全体会議で事例検討を行い、支援内容についての話し合いも行っています。		引き続き支援終了時もミーティングを行い、一人ひとりの振り返りや今後の課題などを要領よくまとめ情報共有し、次の支援につなげていくようにします。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	ミーティングで出た活動や課題の取り組みの状況を記録し、それを基にして支援計画に対する評価をしています。また、支援の見直しや改善についてもその都度話し合うようにしています。		今後も継続し、支援の検証・改善に努めます。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的に保護者の方とモニタリングを実施し、支援計画案作成後は職員会議での意見やモニタリングの記録を参考に見直しをするようにしています。		今後も継続して取り組んでいきます。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	担当者会議には児童発達支援管理責任者が出席し、会議の内容については職員全体会議などで報告しています。		可能な限り参加し、情報共有や連携図っていきます。またその内容を職員間で情報共有していきます。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施			
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備			
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	必要に応じて保育所や認定こども園、幼稚園へ訪問を行ったり、また担任の先生や加配の先生に來所して頂いたりして、お互いに情報共有を行い、関係機関との連携に努めています。		引き続き、保護者の方や先生方からのご依頼がある場合には、児童発達支援責任者や支援担当者が園等を訪問して、互いに情報共有しながら支援方法を統一していきます。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	保護者の方からのご依頼があれば、当事業所での様子や支援方法、配慮などの必要事項について書面でお渡しするようにしています。		引き続き、保護者の方や卒業後の進路先からご依頼があれば、可能な限りの情報提供に努めていきます。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関での研修については、毎年職員が順に受講するように促進しています。		今後も継続し行っていきます。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	7	児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	現在保育所等との交流はありません。子育てプラザなど地域の子どもたちが集まる場に出かけています。コロナウィルスの感染防止に留意しながら取り組んでいます。	はい30% どちらともいえない13% わからない44% いいえ13% コロナもあり仕方ないと思う。コロナの中で実施しても不安になるので今回の判断は仕方ないと思う	今後は、コロナウィルス感染状況を考慮しながら、外出活動や地域の施設に出向く機会ができるよう企画検討していきます。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域の子育てプラザや地域の公園に行ったり、散歩をしたりした時は、地域の方に挨拶を行うように努めています。季節のイベントでは、事前にご協力をご依頼して参加していただいています。	はい90% わからない10%	今後も機会があれば、継続して地域の方との交流をしていきたいと思えます。
保護者への説明責任・連携支援	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	支援内容、利用者負担等については、見学時や契約時に説明しています。また、保護者の方から質問があった場合には、その都度説明しています。	はい 90% どちらともいえない10%	今後もご理解いただけるように、しっかりと説明していきます。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	懇談や送迎時に、支援計画を示しながら説明を行っています。	はい87% どちらともいえない13% 面談という形で説明してくれる。	今後も継続して行っています。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	未就学児の保護者の方を対象にペアレントトレーニングを開催しています。今年度はコロナウィルス感染状況を考慮して中止となりました。	はい57% どちらともいえない10% いいえ10% わからない23% コロナで中止になってしまった。今後参加したいと思っている。今回、参加申し込みをしたが人数が多くて参加できなかった	来年度以降も毎年実施予定です。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時にその日の様子や活動への取り組みなどについてお伝えします。ご家庭での様子についても、連絡ノートや送迎時の聞き取り等を行い、共通理解を心がけています。定期的にモニタリングを行い、課題解決について一緒に考えていきます。	はい80% どちらともいえない14% いいえ3% わからない3% 療育が終わった後にコドモンの配信で様子を伝えてくれている。コドモンでスケジュールと写真が送られてくるので様子が分かりとてもいいと思う。	今後も継続して行っています。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	ご相談頂きましたら、早期の段階で送迎時や必要に応じて電話や面談で対応し、解決に向けたサポートができるよう努めています。必要に応じて相談専門員への相談や他機関の紹介を行っています。	はい84% どちらともいえない3% いいえ3% わからない10% いつも丁寧なアドバイスや助言ありがとうございます。保護者との面談の回数を増やしてもらえると嬉しい。	今後も継続して行っています。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	年に2回茶話会を実施していましたが、今年度は放課後等デイサービスの保護者様と合同で取り組みました。	はい47% どちらともいえない20% いいえ3% わからない30% 茶話会で情報交換できていいと思う。茶話会をひらいてくださってありがたい。	コロナウィルス感染が心配な状況ではありますが、可能な限り茶話会などを実施し、保護者様同士連携できる場を増やしていきます。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情窓口は契約時に説明しています。苦情があった場合、事実確認と原因や改善点などについて職員間で話し合い、迅速かつ丁寧に対応するように心がけています。	はい40% いいえ3% わからない57% 苦情をしたことがないのでわからない。	今後も継続して行っています。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	子どもとの意思疎通については、必要に応じて視覚支援等で対応しています。スマイルでの様子は連絡帳に記載したり送迎時に口頭でお伝えしたり、必要に応じて電話連絡も行っています。	はい83% どちらともいえない7% いいえ3% わからない7% 毎月のスマイル便りの写真の様子がわかりやすい。	現状を維持すると共に、更に丁寧な説明を心掛けます。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月園便りを発行し、活動内容や行事予定、連絡事項と共に、活動の様子が分かるように写真を掲載しています。9月からはコドモンを利用し、その日の全体の様子をお伝えするようにしています。	はい97% どちらともいえない3% コドモンの配信が分かりやすくて嬉しい。	今後もお便りの内容について検討し、取り組みなどの発信が出来るよう努力します。また、9月から初めているコドモンも活用していきます。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に保護者の方に個人情報同意書を記入して頂いています。個人情報等の取扱いについては、他者の目に触れることがないように十分に注意をするよう徹底しています。	はい94% どちらともいえない3% わからない3% 丁寧に対応して下さっています	個人情報の取り扱いは、今後も十分気を付けて管理してまいります
非常時等の対応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを作成し、マニュアルは職員はいつでも見られるように事務所内に掲示しています。保護者の方には、緊急時の避難場所や対応のお知らせをし、個別支援計画にも記載しています。	はい83% どちらともいえない7% わからない10% 契約時に聞いたかも知れないがよく分からない。	今後新規の方には、契約時に説明をするようにし、利用されている方には、書面にまとめて定期的に配布していきます。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	毎月1回、火災・地震・不審者侵入・洪水のいずれかを想定した避難訓練を実施しています。また、子どもたちと共に、実際の避難場所へのルート確認等も行っています。	はい63% どちらともいえない7% わからない30% 定期的に避難訓練をしてくれている。	今後も継続して行きます。今後も月に1回の実施日を園便りでお知らせをし、訓練の様子等を保護者の方にもお伝えするようにしていきます
	3 虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	各事業所で責任者、虐待防止委員を設置し、定期的に研修を受けています。研修内容については全体ミーティングを用いて職員全体にミニ研修を行い、内容を確認合っています。		虐待防止委員の研修のほか、時事ニュース等の情報内容も職員全体の会議で情報を共有し、虐待防止への意識を高めて行きます。また、虐待が疑われる時には、関係機関と連携し、適切な対応に努めます。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	これまでに身体拘束をするような事例がありませんでしたが、今後そのような事例が出た場合には、保護者様の同意の上対応させていただきます。		現状を維持します。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に、食物アレルギーのあるお子様については症状や対応について、詳細を確認し職員間で情報共有しています。また、おやつを用意時等、誤って飲食する事のないよう、お子様の名前とアレルギー物資を掲示しています。		今後も継続的に対応し、安全面に配慮して取り組みます。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットや事故は、その都度、報告書を作成し、発生状況や経緯、原因、再発防止への取り組みを職員間で共有しています。		更に意識を高め、改善に向けて努力していきます。